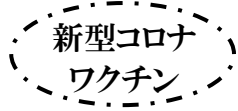




大切なのは、
 実現すること。



横浜市 3回目接種の実施について

横浜市発表
 (11月26日現在)

	令和3年 11月	12月	令和4年 1月	2月	3月	4月	5月
接種時期		医療従事者等					
個別通知 (接種券等) 発送		● 11/22発送済み (令和3年12月に接種可能となる方)	● 12/20発送予定 (令和4年1月に接種可能となる方)				

2回目接種完了から原則8カ月以上経過した方から順次 (高齢者、18~64歳)

2回目接種完了から原則8カ月以上経過した方から毎週発送予定 (令和4年2月以降に接種可能となる方)

◆接種費用はかかりません ◆接種の予約: 「市の予約受付 (電話・インターネット)」または「個別医療機関での予約受付」 ◆接種場所: 市内1,709か所 (現時点) の医療機関。令和4年3月以降に集団接種会場も設置予定

【新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター】

電話: 0120-045-070 FAX: 050-3588-7191 (耳の不自由な方のお問合せ用)



熊本地震、豪雨災害 被災地の視察報告

2016年4月14日に起きた熊本地震。ちょうどこの日、熊本に居合わせ、震度7の「前震」を体験しました。その後、状況を総務省、財務省、国土交通省など関係各所に報告し、被災した自治体の業務ができるだけ滞りなく進むように取り計らっていただきました。

それと同時に、私が代表を務める復興支援グループ「ゆいっこ横浜言いだしっぺ支部 (以下、ゆいっこ)」が戸塚区・泉区・瀬谷区を中心に募金活動をし、炊き出しの支援をしました。

また、昨年7月の豪雨の際にも、「ゆいっこ」の募金で、現地で炊き出しをする仲間たちに軽自動車と炊き出し用の資金を贈りました。

そのとき以来、折に触れて熊本県内で復興状況を見せていただいています。



流されてきた建物。まだ撤去されていません。

今回の視察では、自治体によって随分と差があるという印象が強くなりました。

災害時には、特に首長の能力に加え、組織の総合力が表れてきていると思います。

前 内閣官房副長官
 衆議院議員

さかい学 事務所

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町142 鈴木ビル3階
 ☎ 045-863-0900 FAX 045-865-6700 info@sakaimanabu.com

www.sakaimanabu.com



自民党神奈川県第五選挙区 (戸塚区・泉区・瀬谷区) 支部

www.sakaimanabu.com

例えば、豪雨災害後、大量に出た災害ごみの受け入れ場所が遠く離れた場所に一か所しかなく、ごみ捨てが一日がかりになるとしたら、仮置きの集積所を作り、応急の改善をするのがよくあるパターンです。しかし今回視察した中には、その対応ができなかったという自治体がありました。

聞くと、この自治体には有事に使うべく用意してある「財政調整基金積立金」がほとんどなかったそうです。同様の財政規模の自治体では、15～17億円積んであるのが相場だそうです。

地震、コロナでの臨時出費があったことは想像がつきますが、それでも積み立てをしている自治体がある一方で、底が尽きている自治体もある。それでもいざというとき、「市民の困りごとを解決するためにどうしたらいいか考え、行動できるかどうか」に実力差が出てくるのだと、痛感しました。



昨年の8月に募金と軽自動車を届けに来た際には、被災した家々で泥とがれきの撤去作業をしていましたが、今回は人気（ひとけ）の無い家が目立ちました。

また、復興に向けての体制づくりのスピード感、計画の深さなどにも差が出ていると感じざるを得ませんでした。

現地の方にお話を伺ったところ、豪雨災害後の圃場整備で何町歩にもわたり数多くのダンプカーが土砂を運び出し、畝やあぜ道を整備した段階で、地域全体を遊水池にする計画があると聞かされたというのです。

この方は、今年度中に自宅や農機具を入れる倉庫などの建設を終えなければ農水省から補助金が出ないと言われ、急ピッチで建設を進めていました。しかし“寝耳に水”の遊水池計画により、建設を中止するように言われたそうです。

もっと早くから遊水池計画をまとめてくれていたなら・・・と思わずにはいられません。今後、国交省関連部局と農水関連部局で調整してもらい、住民が困る状況は解決してもらわなければならないと思っていますが、縦割りを象徴する話にほかなりません。

災害などは、平時と異なり地力が求められると思います。ルーティンの手順が決まっている仕事のやり方ではおさまらないのです。日頃から有事の想定も怠ることなく務めていくことの重要性を再認識しました。



農家の方が、指さす先に見える建物の屋根のほとんどが水に浸かっていたそうです

【さかい学(坂井学)プロフィール】

昭和40年(1965年)9月生まれ

- リトルリーグから大学卒業まで野球漬けの日々。東京大学法学部→松下政経塾(10期生)→土壌浄化法を用いた汚水処理の仕事のかたわら、自然農を実践→衆議院議員秘書→衆議院議員(5期)
- 国土交通・復興大臣政務官、財務副大臣、総務副大臣、内閣官房副長官を歴任 ●復興支援グループ「ゆいっこ横浜言いだしっぺ支部」代表、「日本の安全保障を学ぶ会」主宰
- 好きな言葉:「ザコはザコなり大海を泳ぎ、われはわれなり大地を歩く」(坂村真民) ●趣味:ウォーキング、スパイスを使った料理(食べる、作る)
- 家族:妻、子ども三人

さかい学の活動を発信中!



Twitter



Facebook



さかい学チャンネル



Instagram